IIRAS
Institute of International Relations and Area Studies

JAGG/IIRAS共催シンポジウム
グローバル・ガバナンスの現在

第一部「グローバル・ガバナンスの現在①－理論と実際」
日時：11月14日　15：30－18：00

司会：渡邊啓貴(帝京大学・教授)
報告：大中真（桜美林大学・教授）
「英国学派はグローバル・ガバナンスに貢献できるか」
報告：高須幸雄(国連事務総長特別顧問、立命館大学客員教授)
「グローバル・ガバナンスとSDGs」
報告：瀧澤三郎（元UNHCR駐日代表・東洋英和女学院大学名誉教授）
「難民の国際的保護の現状～現場の視点から」
討論：上村雄彦（横浜市立大学・教授）

第二部：「グローバル・ガバナンスの現在②－コロナ禍への対応」
日時：11月15日　14：30－17：00

司会：渡邊啓貴（帝京大学・教授）
報告：赤阪清隆（元国連事務次長）
「WHOの対応ぶりと課題」
報告：久保文明（東京大学・教授）
「トランプ、コロナ、バイデン、そして世界」
報告：青山瑠妙(早稲田大学・教授)
「中国から見た新型コロナ危機とグローバルガバナンス」
報告：福田耕治（早稲田大学・教授）
「新型コロナ危機とEU統合―医療・人道支援における欧州の連帯」
コメント報告：本名純(立命館大学・教授)
「コロナ禍への世界の対応―ASEANの視点を交えて」

事前参加登録はこちらから（参加費無料）
https://forms.gle/PsQgAazurF9HCSfw6

主催：グローバル・ガバナンス学会(JAGG)
：立命館大学国際地域研究所(IIRAS)
後援：科研費・基盤研究(B)「変貌する大国間関係・グローバル市民社会の交錯とグローバル・ガバナンス」
：アジア日本研究所推進プログラム「ASEAN共同体時代の人間の安全保障プロジェクト」

問い合わせ先: kokuchi@st.ritsumei.ac.jp

Photo by Dave Di Biase from Freeimages.com